

【 注射 】

１９７ グリチルリチン酸－アンモニウム・グリシン・Ｌ－システインの算定について

《令和６年６月２８日》

○ 取扱い

次の傷病名に対するグリチルリチン酸－アンモニウム・グリシン・Ｌ－システイン塩酸塩水和物配合（強力ネオミノファーゲンシー静注）の使用量は、原則として 40mL まで認められる。

- (1) 湿疹、皮膚炎
- (2) じんま疹
- (3) 薬疹
- (4) 中毒疹

○ 取扱いを作成した根拠等

グリチルリチン酸－アンモニウム・グリシン・Ｌ－システイン塩酸塩水和物配合（強力ネオミノファーゲンシー静注）については、添付文書の用法・用量に「通常成人には、１日１回 5～20mL を静脈内に注射する。なお、年齢、症状により適宜増減する。」と記載されており、年齢、症状により適宜増減した場合であっても、40mL を超えない使用量が適切と考えられる。

以上のことから、上記(1)から(4)までの傷病名に対するグリチルリチン酸－アンモニウム・グリシン・Ｌ－システイン塩酸塩水和物配合（強力ネオミノファーゲンシー静注）の使用量は、原則として 40mL まで認められると判断した。